



2025年2月7日

CDP気候変動調査において最高評価「Aリスト」企業に選定

千葉銀行（頭取 米本 努）は、CDP*が2024年に実施した気候変動調査において、気候変動に対する取組みとその情報開示の透明性などが評価され、最高評価である「Aリスト」企業に選定されました。

CDPによる気候変動調査では、企業の環境問題やリスクに対する取組み等に応じて、「A」から「D-」まで全8段階で評価を行っています。

当行は、2022年3月に「2030年度までにCO2排出量（SCOPE 1+2）ネットゼロ」とする目標を公表し、当行グループのCO2排出量の削減に取り組んでいます。また、CO2排出量測定ツール「C-checker」を開発し、ちばぎんビジネスポータル¹の無料サービスとして提供するなど、お客さまの脱炭素化（カーボンニュートラル）に向けた取組みを総合的に支援できる体制を構築しています。

今後も当行は、地域の脱炭素化をはじめとした環境・社会問題の解決に積極的に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

※ 2000年に発足した国際的な非営利団体。世界の企業、自治体等の環境情報開示のための世界的なシステムを運営している。2024年には、世界の時価総額の66%以上を占める24,800社がCDPを通じてデータを開示し、日本企業全体では、2,100社以上が開示を行った。

